

## 病気の理解と周囲の環境作りが大切

# 発達障害



もし自分の子どもが発達障害と診断されたら…あるいは周囲に発達障害の子どもがいた場合、周囲の人はどのように接し、子どもたちが暮らしやすくするにはどうしたらよいのだろうか。函館中央病院（函館市）小児科の廣瀬三恵子医師（小児神経専門医）に解説してもらった。

知的障害を伴わない発達障害にはどのような分類があるのか。2004年に制定された発達障害者支援法によれば、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如多動症(ADHD)、限局性学習症(SLD)、Tourette症候群(TS)、チック症(1つ)、発達性協調運動障害(DCD)、吃音症が法律の対象とされ、一般的には自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症の3つが代表的な障害として考えられているという。ではその3つについて具体的に解説して頂く。

まず自閉スペクトラム症は、従来小児自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害と分類された病態を、1つの障害単位と捉え統合された病名(スペクトラムとは連続体の意)。

「自閉スペクトラム症は、わかりやすくいえば社会的なコミュニケーションの障害と、限定された強いこだわりという2つの特徴があります。コミュニケーションについては

”臨機応変な対人関係が苦手”で、喜怒哀楽の感情を他者と分かち合ったり双方向の対人交流が続きにくく、人間関係をうまく構築することができません。お子さんによって、自分から他人に関わることは全くないケースもありますし、自分から関わるものの、あくまで一方的などといった特徴がみられます。

臨機応変の対応が苦手なので、例えば”いい天気ですね”と話かけても”今日の最高気温は19度、降水確率は80%なので、いい天気とはいえないと思う。”あなたと天気の話をしている時間はありません”といった返答が返ってくるかもしれません。

相手を怒らせたり、誤解される可能性がありますが、本人に悪気は全くないのです。

こだわりの強さとは、自身の関心ややり方、ベースの維持を最優先させたいという本能



自閉スペクトラム症の子どもは臨機応変の対応が苦手。が、本人に悪気はない

的志向の強さを意味する。こだわりの対象には、物の配置やスケジュール・段取り、マニアックな知識等々さまざま挙げられる。それは一方で他者への無関心ということにもつながっており、歩いていて誰かとおつかつても謝ることはしないという行動もみられるという。しかし、これも悪意あつてのことではなく、他人と関わるこの意味がわからないが故の行動パターンなのだ。

注意欠如多動症は不注意と多動症という2つの特徴がみられる障害。

「不注意とは、ケアレスミスをしやすかったり、注意力が

「発達障害とは大まかには、脳の特長領域の機能障害により、日常生活や社会性、学業、成人であれば就労等で困難な状態があることを指します。子どものときに気付くケースも多いですが、小さいときは症状が軽かったり、周囲から大目に見られることがあるので、最近では成人してからわかるケースも増えていきます。発達障害という概念は過去にはあまり知られていなかったこともあり、近年になって発達障害と診断されるケースが増えているといえるでしょう」

(廣瀬医師)。

**発達障害の代表的な分類**



函館中央病院 廣瀬 三恵子 医師

特集『発達障害』小児科 廣瀬 三恵子 医師



限局性学習症では、読み書き、計算の障害がみられる

ラム症が2%強、注意欠如多動症が3~5%、限局性学習症が5%程度だという。また、文部科学省の全国実態調査(2012年)によれば、学習面または行動面で著しい困難を示す児童生徒(発達障害を持つと考えられる児童生徒)は約6.5%としている。

発達障害は分類にもよるし、その子どもが抱える障害の程度によって、発見される年齢もまちまちだ。中には赤ちゃんの時点で疑われるケースもあり、廣瀬医師は問診の際に、手がかかったり、人見知りをしたかなど、どのような赤ちゃんだったか必ず訊くようにし



こだわりの強さも自閉スペクトラム症の特徴

散漫でいわれたことを忘れる、忘れ物をする、集中力がないなど。多動症は落ち着きがない、不適切な状況で走り回る、授業中に立ち上がる、しゃべり過ぎる、順番待ちが苦手、質問の答えを先にいってしまうなどの行動がみられます。

少し考えればしてはいけないとわかることでも、衝動性が強く、例えば迷わず非常ベルを押してしまうなど、周囲の人にはいたずらにしか見えないかもしれない。

限局性学習症は読むこと、書くこと、計算することのいずれかが困難となる障害。診断上では、全般的知能が正常

ているという。

「自閉スペクトラム症の場合、乳幼児期から人に関心を示さず、早期に発見されることがあります。障害があると、例えば赤ちゃんのときからお母さんと目があまり合わなかったり、お母さんがトイレに行っ

ても後追いつせず、泣いたりもしないといったことがあります。

誰にでもニコニコと愛想のよい子もいて、母親以外でも同じ態度を示すのです。この位態度が明確な場合には乳幼児期から自閉スペクトラム症

読み障害の症状

字を読むことを嫌がる、長い文章を読むと疲れる、文章の音読に時間がかかる、単語または文節の途中で区切ってしまう、文末を正確に読めない、指で押さえながら読むと少し読みやすい、「は」と「わ」を間違える、「め」と「ぬ」など形態的に似た文字を間違える、読み方が複数ある漢字を間違えるなど

書字障害の症状

字を書くことを嫌がる、字を書くのに時間がかかる、早く書けるが雑、書き順をよく間違える、漢字ではなく仮名を使いたがる、句読点を書かない、マス目や行に収められない、特殊音節の表記の誤りが多い、「わ」と「は」、「お」と「を」の表記を間違える、画数の多い漢字の誤りが多い、形態的に類似した漢字の書き誤りが多いなど

計算障害の症状

数字の読み書きを誤る、マス目や行に収められない、おはじきなど具体物がなく数字だけの操作だと混乱する、桁の概念や大きな数、小数、分数など非自然数の習得が困難、繰り上がり繰り下がり・割算など複数の段階を積み上げる計算手順が身に付きにくいなど



注意欠如多動症では、授業中にじっとしてられない、忘れ物が多いなどといった特徴がみられる

範囲にあり、視覚・聴覚にも障害はなく、学習環境や本人の意欲にも問題がないにも関わらず、いずれかの障害がみられる状態。複数の障害を合併するケースも珍しくないという。各障害で具体的にみられる症状は次ページの表に示した。

「欧米では読み書き障害をディスレクシア(dyslexia)」といって、カミングアウトする方も多く、俳優のトム・クルーズやキアラ・ナイトレイ、映画監督のステイブン・スピルバーグも知られています。

発明家のエジソンも自閉スペクトラム症が注意欠如多動症だったのではないかとわれているのですが、つまり発達障害があっても、自分の才能を発揮し、活躍している例はたくさんあるということです。

国内における児童精神医学の第一人者である杉山登志郎浜松医科大学特任教授によると、発達障害の罹病率は、知的障害が1%、自閉スペクト

発達障害はどの時点で発見されるのが多いのか

特集『発達障害』 小児科 廣瀬 三恵子 医師



オウム返しの返答が多い場合も、発達障害の可能性が

士の関わりでトラブルが多かったり、教室内からとび出していくなどで発見されるケースもあるが、小学校にがあがってから発見されることも多い。友達を叩いたなどの子ども同士のトラブルや、落ち着きがない、教室内を立ち歩く、注意されても同じことを繰り返すなどが受診のきっかけになっているという。

また、限局性学習症は学習面での障害となるため、小学校にがあがって以降、学習の遅れがはつきりわかった時点で受診することが多くなっている。

なお、発達障害は全般に男児に多いとされるが、女児の場合は発見されにくい傾向があるという。

治療は子どもに応じてさまざま手法が

発達障害に対する根本的な治療法はなく、「療育」と「環境調整」が治療の基本となる

ている。

「療育とは障害のある子どもの発達を、治療的教育的に体系立てられた手法によって促し、自立して生活できるように援助する取り組みをいいます。療育の方法は色々ありますが、代表的な手法としては米国で考案されたTEACCHプログラムや応用行動分析学(ABA)、感覚統合療法などが挙げられます」。

TEACCHプログラムとは、自閉スペクトラム症の子どもとその家族を対象とした生涯支援プログラムで、診断・評価の上、予測不能な状態が苦手である子どもに、整理された構造化された環境を作ることでサポートする考え方。

構造化とは例えば、勉強する場所や遊ぶ場所、落ち着く場所などの環境を物理的に整理し、これから起きることを予測可能にすることで不安を回避することを指す。自閉スペクトラム症の子どもは見通しが立たないことへの不安が強くなるため、スケジュールをしっかり決めておくことと先

が見通せ、不安の回避につながる。

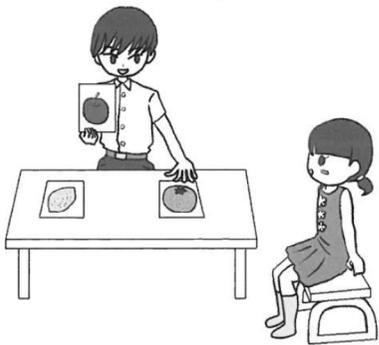
こうした時間や空間の整理は、環境調整の考え方でもあり、学校や家庭で症状が出にくい環境を作っていくことが重要となる。ADHDの子どもに対しては、勉強する際には子どもの興味を引くような物や余計な物を置かず、集中できる環境を整えることが求められる。

応用行動分析学は人間の行動を個人と環境の相互作用の枠組みの中で分析し、諸問題の解決に活用していく理論と実践の体系とされる。要は問題行動の原因を理解、特定し、それを回避する適切な手法をみつけていくという考え方だ。おもちゃ売り場でかんしゃくを起したとしたら、かんしゃくの要因を分析し、その行動を「消去」し、望ましい行動を「強化」できるように導いていく。

感覚統合療法は、さまざまな体の動きなどを通して感覚刺激を正常化し、改善を目指す手法。人間は五感や手足の

状態、関節の感覚、体の傾き、動き、速度などの感覚を脳で情報処理しながら生活している。発達障害の子どもはこの感覚がうまく統合されていないため、身体的な訓練を通して、運動コントロールや言語機能、学習能力の獲得を行っていく。リハビリ的な手法になるので、同病院では主に作業療法士が感覚統合療法を行っている。

このほかPECS(Picture Exchange Communication System)という絵カードを用いた「代替/拡大コミュニケーション方法」を行うこともある。これは例えば、子どもが欲するアイテムのカードを提示し、子どもは欲しいものと交換するためのカードをとって、支援者に渡すといったことを行う方法。子どもの自発的な行動を促し、段階的にトレーニングを發展させながらコ



障害に応じてさまざまな支援を実施。絵カードを用いた方法を行うこともある

特集『発達障害』 小児科 廣瀬 三恵子 医師

No.4

たスタッフが親御さんに向けて講義とロールプレイを用いて指導を行います」。

ADHDでは薬物療法も



注意欠如多動症の場合は薬物療法も行われている。脳の情報伝達は神経細胞から神経細胞へと伝える際、神経伝達物質を介した電気信号を伝えることで行われている。このときに働くのがノルアドレナリンやドパミンという物質で、ADHDでは脳内のドパミンが少なく適切に働いていないと考えられているため、薬物がこの物質に作用することで、集中力の改善が期待できるといふ。

非常に高い治療効果がみられているという報告も増えており、同病院では「もぐら一ず」というPCを使った持続処理課題(CPT)を薬物治療の効果判定に活用している。服用後のテストの正答率が年齢相応まで改善し、実際に問題行動がほぼみられなくなった

ケースが複数あるという。なお、発達障害が気になる場合には、小児神経専門医や児童精神科医のいる医療機関、療育センターなどが相談先となる。

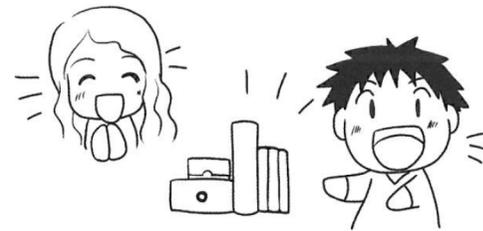
周囲の人間の関わり方は



発達障害で気を付けたいのは、周囲とのあつれきやトラブル等から、いじめや不登校、引きこもり、不安障害等の二次障害を引き起こしてしまいうことだ。それを防ぐためにも、早期に発見し、適切な環境作りや治療に取り組んでいくことが大切。学校教育の現場でも教師が発達障害について理解しておくことが非常に重要だといえるだろう。

周囲の人間にとっても、発達障害という病態を認識できていれば、その子どもの行動が理解できるかもしれないし、関わり方も自ずと変わってくるのではないだろうか。

「周囲の大人は、できるだけいいところや、本人がちょっとでも努力しているところを褒めてあげることが一番大切です。何かあっても、ちょっと大目に見てあげるという気持ちを持つて欲しいと思います。発達障害の子どもは独創的な視点を持っており、成人になつてからそうした特性が評価されることもあるものです。この子は、大器晩成型のタイプと捉え、いいところを面白がってあげる視点も大切でしょう」。



できるだけよいところを見つけ、褒めてあげるようにしたい